

中央区子ども・子育て支援事業計画の進捗状況管理

主な事業の量の見込みと確保方策

(令和4年度分)

# 令和4年度中央区子ども・子育て支援事業計画 点検・評価

## 1 事業名等

大事業	幼児期の教育・保育の量の見込みと確保方策	部課名	福祉保健部子育て支援課 福祉保健部保育課 教育委員会事務局学務課 教育委員会事務局学校施設課
事業名	(1) 幼児期の教育・保育の量の見込みと確保方策		
確保方策の考え方	幼稚園等については、認定こども園の整備を進めるとともに、学校施設の整備・改修にあわせ定員数を確保していきます。 保育施設については、以下の考え方のもとに保育施設の整備を進め、定員数を確保していきます。 (1) 認可保育所の開設を中心に整備を進めていきます。 (2) 1歳児の待機児童解消に向けて、1歳児から定員設定の保育施設の整備に努めます。 (3) 地域型保育事業および認証保育所については確保方策に含めます。		

## 2 事業の量の見込みと確保方策(令和4年度)

		計画		実績	
		量の見込み	確保方策	需要量 (計画比較)	確保方策 (計画比較)
保育所等	2号認定 (3, 4, 5歳児)	3,196人	3,598人	3,076人 (-120人)	3,729人 (131人)
	3号認定 (1, 2歳児)	2,315人	2,322人	2,100人 (-215人)	2,359人 (37人)
	3号認定 (0歳児)	550人	555人	377人 (-173人)	513人 (-42人)
	合計	6,061人	6,475人	5,553人 (-508人)	6,601人 (126人)
幼稚園等	1号・2号認定 (3, 4, 5歳児)	2,226人	2,275人	1,384人 (-842人)	1,760人 (-515人)

## 3 成果 ※取組により、想定(期待)される成果を記載

機動的な教育・保育施設の整備を推進することにより、保育を必要とする全ての子どもが利用できる環境を整える。

## 4 成果指標

3ページ参照

## 5 事業の点検・評価と課題

点検・評価	<p>令和4年4月1日時点で、確保方策が量の見込みを上回り待機児童は解消した。 令和4年度は、待機児童は解消したが主に月島地域において需要の増加が見込まれるため、4月に私立認可保育所4園、10月に私立認可保育所2園を新規開設し、さらに新設園の5歳児枠を活用した期間限定型保育事業も引き続き実施した。また、令和5年度に向けて私立保育所2園及び私立保育所型認定こども園1園の新規開設を進めている。</p> <p>保育の質の向上の取組として、令和4年度は安全対策を重点項目に位置づけ、私立保育所へは年間で59園、延べ596回、区立・公設民営保育所へは16園、延べ47回、認証保育所・地域型保育事業所へは14園、延べ131回の巡回指導を行った。また、令和3年度から実施している認可外保育施設に対する委託事業者による巡回指導は、34園、延べ145回実施した。</p> <p>特に置き去り防止については園長会等で事例を通して対策等の指導を行い、園外活動時等における危機管理意識や日々の安全管理について確認した。引き続き、安全安心な保育を提供するために事故防止に関する助言、指導を行い、保育の質の向上を図っていく。</p>
課題	<p>今後の晴海地区における大規模開発等による保育の需要を見据え、引き続き適切な確保方策のための保育施設整備に取り組む必要がある。また、多様な保育ニーズへの対応として、認定こども園の整備等も進めていくことが必要である。一方で、地域的な需給ギャップ等により需要量が量の見込みを下回っていることから、地域の実情に応じた定員数の確保について検討を進めていく。</p> <p>保育の質の向上に向けては、豊富な経験を持つ保育士が十分に保育力を発揮できる環境整備が重要であり、保育士の負担軽減を含め、継続して勤務できる取組についても引き続き進めていく必要がある。</p>

## 6 委員の主な意見・評価

--

## 7 今後の方向性

--

#### 4 成果指標

##### (1) 待機児童

待機児童数（人） ※各年度4月1日時点。( )は前年比。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
188	197 (+9)	202 (+5)	85 (-117)	0 (-85)

##### (2) 保育ニーズに見合った保育定員

令和4年度 保育定員・ニーズ・待機児童(実績値)に関するまとめ(0歳児～2歳児)  
(令和4年4月1日現在)

年齢			充足数	期間限定 保育事業	待機児童数
	保育定員	保育ニーズ			
0歳	513人	377人	136人		0
1歳	1,123人	1,001人	122人	2人	0
2歳	1,236人	1,099人	137人		0

##### (3) 区民の意識

重要と考える子育て支援策 一過年度比較

(%)

調査年	n	保育園・認定こども園・幼稚園 地域型保育事業所・施設整備	一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス	職業生活と家庭生活との両立の支援	放課後などにおける児童の遊びや生活の場	公園の整備など、子どもを安心して育てることが	子どもの健全な成長のための教育環境の整備	経済的な支援	児童虐待防止対策	子育て仲間が交流し、情報交換のできる場	母親と乳幼児などの健康の確保および増進	情報の提供や相談サービス	特になし	無回答
令和4年	1,004	33.7	34.2	16.9	10.7	12.1	11.7	10.9	8.5	4.5	1.8	3.9	5.5	17.2
令和3年	1,101	36.4	35.1	16.6	12.6	15.4	9.5	11.5	8.6	4.2	1.5	4.0	4.4	14.7
令和2年	1,161	38.8	33.7	15.1	11.8	12.1	11.8	12.2	9.0	4.4	1.9	4.1	4.8	14.7
令和元年	956	42.8	37.0	16.7	11.7	10.6	9.3	7.5	11.6	4.9	1.8	3.8	4.4	17.4
平成30年	1,056	42.8	40.2	14.6	11.3	11.3	8.5	9.7	6.6	3.0	1.6	2.8	4.4	15.8

あなたがこれからの区の子育て支援で更に充実を図る必要があると考えるものを選んでください。(%)

調査年	n	保育園・認定こども園・幼稚園 地域型保育事業所・施設整備	一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス	職業生活と家庭生活との両立の支援	放課後などにおける児童の遊びや生活の場	公園の整備など、子どもを安心して育てることが	子どもの健全な成長のための教育環境の整備	経済的な支援	児童虐待防止対策	子育て仲間が交流し、情報交換のできる場	母親と乳幼児などの健康の確保および増進	情報の提供や相談サービス	特になし	無回答
令和4年	1,004	25.5	29.5	25.9	24.1	27.8	21.7	18.8	17.8	12.0	11.7	14.0	5.4	30.6
令和3年	1,101	27.1	31.8	25.2	26.2	27.2	21.8	20.3	21.2	12.5	10.0	13.6	4.3	25.4
令和2年	1,161	29.2	33.9	27.6	28.3	28.9	23.4	20.5	21.2	10.5	11.5	12.9	5.2	23.5
令和元年	956	27.4	32.6	25.5	27.0	26.2	20.4	16.3	24.4	11.1	11.7	13.0	4.5	27.5

資料：「第52回 中央区政世論調査報告書」(令和4年)



# 令和4年度中央区子ども・子育て支援事業計画 点検・評価

## 1 事業名等

大事業	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	部課名	福祉保健部保育課 福祉保健部子ども家庭支援センター 福祉保健部健康推進課
事業名	(1)利用者支援に関する事業(利用者支援)		
確保方策の考え方	保育所申込み等に関する相談体制については、保育園長経験者を配置し、特別出張所、保健所、保健センター等における出張相談を実施することとし、保育所の入所や利用に関する相談に応じるとともに、一時預かり保育等相談者の要望に見合った各種の保育メニューに関する情報提供を行います。 また、地域子育て支援拠点事業「あかちゃん天国」において、子育てに関する情報提供や育児相談、助言を行うほか、保健所・保健センターでは母子保健コーディネーターを配置し、妊娠から子育て期にわたる様々な相談を行います。		

## 2 事業の量の見込みと確保方策(令和4年度)

		計画		実績	
		量の見込み	確保方策	需要量	確保方策
保育所申込等に関する相談体制	区役所窓口	1カ所	1カ所	/	1カ所
	その他	区役所窓口以外での相談体制	・特別出張所 ・保健所 ・保健センター ・子ども家庭支援センター		・特別出張所 ・保健所 ・保健センター ・子ども家庭支援センター
地域子育て支援拠点事業「あかちゃん天国」実施箇所数		7カ所	7カ所	/	7カ所
妊娠・出産に関する相談窓口実施箇所数		3カ所	3カ所	/	3カ所

## 3 成果 ※取組により、想定(期待)される成果を記載

いつでも利用できる相談体制が整い、保護者の相談に適切に対応し個々のニーズに合ったきめ細やかな情報を提供することにより、保護者の子育てに関する悩みや不安が解消される。

## 4 成果指標

申込受付件数・相談件数

(件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認可保育所入所申込受付件数	2,686	2,850	2,870	2,864	2,767
保育園入園出張相談での相談件数	857	918	469	853	767
「あかちゃん天国」での相談件数	1,498	1,457	1,357	1,330	976
「妊娠・出産に関する相談窓口」での相談件数(※)	4,359	4,512	4,945	7,310	8,641
妊婦相談(再掲)	1,677	1,590	1,280	3,603	4,514

## 5 事業の点検・評価と課題

点検・評価	<p>【保育所申込等に関する相談体制】          保育園長経験者を配置し、区役所の窓口、特別出張所、保健所や保健センター、子ども家庭支援センターで実施し、保護者のニーズに応えることができた。          出張相談日時や場所の情報については、区広報紙やホームページのほか、チラシを「保育園のごあんない」に挟み込むなど、保護者の目に届きやすい工夫を行い積極的な周知を図った。</p> <p>【地域子育て支援拠点事業】          新型コロナウイルス感染拡大防止を図りつつ、利用制限を設けずに事業を実施することができた。前年度に比べ相談件数は減少したものの、保護者への積極的な声掛けなどにより、育児に関する身近な相談場所としての役割を果たすことができた。</p> <p>【妊娠・出産に関する相談窓口】          全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、保健所・保健センターに母子保健コーディネーターを配置し、妊婦全数面接へ向けたアプローチを実施することで、相談件数も増加した。専門的見地から相談支援等を実施し、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々な悩みやニーズに円滑に対応することができた。          また、支援を必要とする妊産婦を早期に把握し、子ども家庭支援センターと、支援方法や対応方針について協議する特定妊婦情報共有会議を開催し、支援プラン策定および情報共有を行うとともに、定期的なモニタリングにより、子ども家庭支援センターとの連携強化を図った。</p>
課題	<p>【保育所申込等に関する相談体制】          近年の保育ニーズに対応するため、保育施設の新設により定員拡大を図るほか、働き方の多様化等による多種多様な子育ての相談にも応えられるよう、引き続き情報収集を行い、相談員のスキル向上を図る必要がある。</p> <p>【地域子育て支援拠点事業】          今だコロナ禍の影響で孤立している保護者がいることも考えられることから、引き続き感染症対策を図りながら、子ども家庭支援センターの専門相談員による巡回相談、栄養士による食事相談を実施し、子ども子育て応援ネットワークとの連携を図りながら、来館しやすい雰囲気づくりや子育ての悩みを相談しやすい環境づくりを行う必要がある。</p> <p>【妊娠・出産に関する相談窓口】          支援を必要とする妊産婦等を早期に把握し、妊産婦等に対して、各関係機関が提供する母子保健サービス等の支援が包括的に提供されるよう、ネットワークづくり等関係機関との連携を図り、継続的な支援に確実に繋げていく必要がある。</p>

## 6 委員の主な意見・評価

## 7 今後の方向性

## 令和4年度中央区子ども・子育て支援事業計画 点検・評価

### 1 事業名等

大事業	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	部課名	福祉保健部保育課
事業名	(2)時間外保育事業(延長保育事業)		
確保方策の考え方	①延長保育利用定員数: 保育所等の確保方策にあわせて延長定員数拡大 ②スポット延長保育固定枠(区立1園あたり3人) ③認証保育所の午後7時以降保育利用契約者数の実績分(過去5カ年のうち最大値)		

### 2 事業の量の見込みと確保方策(令和4年度)

	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	需要量	確保方策
	時間外保育事業利用者(人/日)	利用定員数(人)	時間外保育事業利用者(人/日)	利用定員数(人) (計画比較)
京橋地域	43	207	14 (-29)	214 (7)
日本橋地域	93	376	20 (-73)	371 (-5)
月島地域	138	537	53 (-85)	529 (-8)

### 3 成果 ※取組により、想定(期待)される成果を記載

通常保育の時間外の保育ニーズに対応することにより、保護者が安心して仕事ができ、また児童が安心して過ごせる場所が確保される。

### 4 成果指標

延長保育待機児童数の推移

保育園名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
令和4年度		1	2	2	3	2	1	0	0	0	0	0
内訳	公立(16園)	1	2	2	3	2	1	0	0	0	0	0
	私立(54園)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- ・当該園に在籍しているが、延長保育の待機になっている児童数
- ・申請児であっても指数不足等調整対象にならない場合は待機児に含めない。

## 5 事業の点検・評価と課題

点検・評価	一部の園に月極延長保育待機者はあるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅勤務などが増加したため、需要が減少しており、概ねニーズには応えられている。
課題	今後も引き続き保護者の多様な働き方やニーズを把握する必要がある。

## 6 委員の主な意見・評価

--

## 7 今後の方向性

--

# 令和4年度中央区子ども・子育て支援事業計画 点検・評価

## 1 事業名等

大事業	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	部課名	福祉保健部子ども家庭支援センター
事業名	(3)①放課後児童健全育成事業(学童クラブ)		
確保方策の考え方	区立学童クラブにおいては、登録定数を設け利用可能人数を増やして対応するとともに、長時間保育や多様な保育ニーズに対応できるよう、新たに児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業を実施する民間学童クラブの整備を進め、定員数を確保していきます。 確保方策(学童クラブの定員数+暫定定員数+登録定数)で不足する量の見込みについては、放課後子供教室(子どもの居場所「プレディ」)で対応するものとし、今後とも学童クラブとプレディは引き続き連携しつつ、より一体的な運営としていきます。		

## 2 事業の量の見込みと確保方策(令和4年度)

	計画					実績					
	量の見込み	確保方策			需要量	確保方策					
	学童クラブ入所希望者数(人)	児童館数(館)	クラブ数	受入定員数		学童クラブ入所希望者数(人) (計画比較)	児童館数(館)	クラブ数	受入定員数		
定員数(人)				暫定定員数(人)	定員数(人)				暫定定員数(人)	登録定数(人)	
京橋地域	219	2	3	120		169 (-50)	2	3	150(+30)		
				110	10				110	10	30
日本橋地域	180	2	2	85		169 (-11)	2	2	105(+20)		
				80	5				80	5	20
月島地域	645	4	8	380		660 (15)	4	9	500(+120)		
				320	60				320	90	90

## 3 成果 ※取組により、想定(期待)される成果を記載

保護者が働きながら安心して子育てができる場所が確保され、放課後児童の健全な育成が図られている。
---

## 4 成果指標

11ページ参照

## 5 事業の点検・評価と課題

点検・評価	<p>児童が放課後等を安心して過ごせる場所を確保するため、学童クラブとプレディのそれぞれの機能をいかしながら、利用時間などにおいて同様のサービスを提供し、概ね順調に実施することができた。また、増加傾向にある待機児童対策として、昨年度に引き続き、暫定定員の概ね1.2倍の人数を登録定数として設けるとともに、晴海学童クラブにおいて1クラブ増設し、前年度より35人の利用可能人数の拡大を実施した(720人→755人)。</p> <p>しかしながら、それを上回る学童クラブ申込があったため、待機児童数は昨年度から38人増の243人となった。学童クラブ待機者の放課後等の居場所の確保方策として、計画どおりプレディとの連携で対応している。</p>
課題	<p>学童クラブのニーズは高く、児童数の増加や共働き家庭の増加が需要を年々高めている状況である。児童に適切な遊びや生活の場を提供し、放課後等に安心して過ごせる居場所を確保していく必要がある。</p>

## 6 委員の主な意見・評価

--

## 7 今後の方向性

--

#### 4 成果指標

##### (1) 学童クラブの待機者

	学童クラブの待機者数				各年度4月1日現在 (人)
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
京橋地域 (築地・新川)	33	36	44	43	19
日本橋地域 (堀留町・浜町)	28	36	38	46	64
月島地域 (佃・月島・勝どき・晴海)	129	131	196	116	160
合計	190	203	278	205	243

館名	定員 (暫定定員含む)	登録者数 (登録定数含む)	令和4年4月1日現在 (人)	
			待機者数	(うちプレディ登録者数)
築地児童館	40	50	3	(1)
新川児童館	80	100	16	(8)
堀留町児童館	45	55	46	(31)
浜町児童館	40	50	18	(15)
佃児童館	100	125	31	(25)
月島児童館	90	110	39	(27)
勝どき児童館	100	125	59	(45)
晴海児童館	90	140	31	(24)
合計	585	755	243	(176)



## 令和4年度中央区子ども・子育て支援事業計画 点検・評価

### 1 事業名等

大事業	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	部課名	教育委員会事務局庶務課
事業名	(3)②放課後子供教室(子どもの居場所「プレディ」)		
確保方策の考え方	学童クラブ待機児にも対応できるように一層の連携を行い、開設時間を学童クラブと同様に、土曜日・長期休業日の開始時間については午前8時30分とし、平日・長期休業日(土曜日は除く)の終了時間については午後7時30分まで延長して、実施します。 現在開設している12校のほか、2024(令和6)年度に月島地域に1校開設し、受入数を拡充する予定です。 今後ともプレディと学童クラブは引き続き連携しつつ、より一体的な運営としていきます。		

### 2 事業の量の見込みと確保方策(令和4年度)

	計画			実績		
	量の見込み	確保方策		需要量	確保方策	
	プレディ利用登録者数(人)	実施校数(校)	想定利用登録者数(人)	プレディ利用登録者数(人)	実施校数(校)	利用登録者数(人) (計画比較)
京橋地域	1,104	4	1,200	中央・明石・京築・明正		
					4	553 (-647)
日本橋地域	1,482	3	1,750	日本橋・有馬・久松		
					3	504 (-1,246)
月島地域	2,261	5	3,358	佃島・月一・月二・月三・豊海		
					5	699 (-2,659)

### 3 成果 ※取組により、想定(期待)される成果を記載

保護者が安心して仕事ができ、また児童が放課後安心して過ごせる場所が確保される。
---

### 4 成果指標

#### 学童クラブ待機者への対応

学童クラブ待機者のうち プレディの登録者数	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
京橋地域 (中央・明石・京築・明正)	33人中21人	36人中28人	44人中35人	43人中35人	19人中9人
日本橋地域 (日本橋・有馬・久松)	28人中19人	36人中32人	38人中32人	46人中36人	64人中46人
月島地域 (佃島・月一・月二・月三・豊海)	129人中97人	131人中109人	196人中170人	116人中78人	160人中121人

## 5 事業の点検・評価と課題

点検・評価	<p>子どもの居場所「プレディ」は子どもの健全育成を図るため、保護者の就労条件にかかわらず、放課後や土曜日、長期休業日などに、区立小学校の在籍児童などが自由に利用することができる施設として開設している。</p> <p>令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、保護者の就労条件を設けての運用となったが、下校後、自宅に保護者がいない児童の見守りなど、家庭や児童のセーフティネットとして一定の役割を果たすことができた。</p> <p>なお、利用対象児童について、小学4年生までの利用制限、小学1・2年生の保護者の就労条件を撤廃したことなどから、延べ利用人数は44,484人増加した。</p>
課題	<p>児童数の増加とともにプレディの登録児童数も増加することが見込まれることから、活動場所の狭隘化が問題となっている。活動場所の多角化と指導員の安定的な確保が課題となる。</p>

## 6 委員の主な意見・評価

--

## 7 今後の方向性

--

# 令和4年度中央区子ども・子育て支援事業計画 点検・評価

## 1 事業名等

大事業	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	部課名	福祉保健部子ども家庭支援センター
事業名	(4)子育て短期支援事業(子どもショートステイ)		
確保方策の考え方	1日の定員を7人とし、年間(365日)を通じて対応することで最大2,555人を受入れが可能な体制を確保します。		

## 2 事業の量の見込みと確保方策(令和4年度)

計画					実績							
量の見込み	確保方策				需要量	確保方策						
年間利用延べ人数見込み (年間延べ宿泊日数見込み)	定員数(人)			年間利用定員延べ人数	年間利用延べ人数(年間延べ宿泊日数) (計画比較)	定員数(人)			年間利用定員延べ人数			
87	養護施設	乳児院	協力家庭	7	2,555	69 (-18)	(石神井学園)	養護施設	(二葉乳児院)	協力家庭	7	2,555
	1	1	5				(石神井学園)	1	1	5		

## 3 成果 ※取組により、想定(期待)される成果を記載

必要なときに利用できる体制が整っていることにより、保護者が安心して利用でき、また子どもの安全な環境が確保される。
--

## 4 成果指標

### ショートステイ利用状況

	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			
	二葉乳児院	石神井学園	協力家庭	二葉乳児院	石神井学園	協力家庭	二葉乳児院	石神井学園	協力家庭	二葉乳児院	石神井学園	協力家庭	二葉乳児院	石神井学園	協力家庭	
件数	入院	8件	3件		6件	1件		2件	2件		6件			3件		
	体調不良	1件			2件	3件	4件	4件			6件		5件	8件	6件	1件
	看護・介護				11件			13件	1件							
	冠婚葬祭															
	その他										2件					
計	9件	3件	0件	19件	4件	4件	19件	3件	0件	14件	0件	5件	11件	6件	1件	
利用泊数	34泊	18泊	0泊	47泊	19泊	8泊	60泊	7泊	0泊	45泊	0泊	9泊	48泊	10泊	2泊	
利用日数	43日	22日	0日	66日	23日	12日	79日	10日	0日	60日	0日	14日	50日	16日	3日	

## 5 事業の点検・評価と課題

点検・評価	通年利用ができる体制は整っている。委託施設は区内にはないが、保護者が安心して利用でき、子どもの安全な環境を確保することができた。また、区内で登録している協力家庭を活用することで、学校への登校が可能となるなど、子どもの意向に沿ったサービスの提供ができた。
課題	子どもの安全確保や保護者の養育の軽減を図る重要な事業であるため、受入施設の継続的な確保や他の受入施設、協力家庭を増やす取組を継続して行う必要がある。

## 6 委員の主な意見・評価

--

## 7 今後の方向性

--

# 令和4年度中央区子ども・子育て支援事業計画 点検・評価

## 1 事業名等

大事業	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	部課名	教育委員会事務局学務課
事業名	(5) 幼稚園預かり保育		
確保方策の考え方	<p>区立幼稚園では、各地域1園ずつ、1日あたり30人の定員数を確保し、土日、祝日を除く年間約245日対応することで、各地域約7,350人の受入れが可能な体制を確保します。</p> <p>また、日本橋地域においては、2021(令和3)年度から阪本こども園を開設し新たに45人の定員数を確保し、合計で約18,375人まで受入れが可能な体制を確保します。</p> <p>さらに、2024(令和6)年度に公私連携幼保連携型認定こども園を月島地域に開設し、受入定員数を拡充する予定です。</p>		

## 2 事業の量の見込みと確保方策(令和4年度)

	計画				実績					
	量の見込み	確保方策			需要量	確保方策				
	年間利用希望 延べ人数	実施園数(園) A	1園あたり利用定員 (人) (登録利用+一時利 用) B	年間実施日数245日× B (受入人数最大値)	年間利用希望 延べ人数 (※()内は計画比較)	実施園数(園) A	1園あたり利用定員 (人) (登録利用+一時利 用) B	年間実施日数	年間実施日数×B 受入人数最大値(人) (※()内は計画比較)	
京橋 地域	4,641	1	30	7,350	明石幼稚園					
					4856 (215)	1	30	242	7,260 (-90)	
日本橋 地域	6,960	2	30	7,350	有馬幼稚園					
			45	11,025	9262 (2,302)	4,540	1	30	242	7,260 (-90)
					4,722	1	45	226	10,170 (-855)	
月島 地域	3,118	1	30	7,350	月島第一幼稚園					
					4726 (1,608)	1	30	242	7,260 (-90)	

## 3 成果 ※取組により、想定(期待)される成果を記載

<p>幼稚園教育時間終了後や夏休み等の長期休業中に、通院、介護、就労、育児疲れ等により家庭での保育が困難な保護者に対し園での保育を提供することで、子育て支援の充実に繋げるとともに幼児が安心して過ごすことのできる場所が確保されている。</p>
--

## 4 成果指標

なし

## 5 事業の点検・評価と課題

点検・評価	<p>全地域において、需要量を確保することができている。 なお、日本橋地域等における見込みに対する需要量の大幅な上回りの要因としては、令和4年度の預かり保育の利用者が、新型コロナウイルス感染症の鎮静化等により、令和3年度に比べ大幅に増加したことが挙げられる。</p>
課題	<p>現状、需要量を確保できているが、引き続き各園の利用実績を注視し、需要に足る保育を提供できるように努めていく必要がある。 令和6年4月に月島地域に開設予定の渋谷教育学園晴海西こども園における預かり保育に対する検討も含め、引き続き充実した保育を提供できるように努めていく必要がある。</p>

## 6 委員の主な意見・評価

--

## 7 今後の方向性

--

# 令和4年度中央区子ども・子育て支援事業計画 点検・評価

## 1 事業名等

大事業	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	部課名	福祉保健部子育て支援課 福祉保健部子ども家庭支援センター
事業名	(6)一時預かり保育、子育て短期支援事業(トワイライトステイ)、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)		
確保方策の考え方	<p>一時預かり保育については、2020年(令和2年)4月に開設したまなびの森保育園銀座および2021(令和3年)4月に開設した阪本こども園において一時預かり保育を実施し、受け入れ定員数を拡充しています。また、2023(令和5)年度に京橋地域および2024(令和6)年度に月島地域に1園ずつ整備予定の認定こども園において一時預かり保育を実施し、受入定員数をさらに拡充する予定です。</p> <p>トワイライトステイについては、子ども家庭支援センターきらら中央及び京橋こども園において、量の見込みに対応します。</p> <p>ファミリー・サポート・センター事業では、提供会員の確保に努め、依頼に対応できるような体制を整えていきます。</p>		

## 2 事業の量の見込みと確保方策(令和4年度)

	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	需要量	確保方策
	年間利用希望延べ人数	年間最大受入可能延べ人数	年間利用希望延べ人数 (計画比較)	年間最大受入延べ人数 (計画比較)
一時預かり保育	20,167	44,831	16,516 (-3,651)	48,287 (3,456)
トワイライトステイ	1,156	10,350	466 (-690)	10,380 (30)
ファミリー・サポート・センター事業	5,865	5,400	1,799 (-4,066)	4,413 (-987)

※実績の内訳は別紙参照

※実績の内訳は21ページ参照

## 3 成果 ※取組により、想定(期待)される成果を記載

子育て支援サービスを提供することにより、保護者の負担が軽減され、安心して子育てができる環境が確保されている。

## 4 成果指標

22ページ参照

## 5 事業の点検・評価と課題

点検・評価	<p>一時預かり保育、トワイライトステイは、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用控えの傾向が続いており需要量が計画より下回っている。</p> <p>ファミリー・サポート・センター事業は、提供会員の拡大が課題であるが、新型コロナウイルス感染症による人との接触を避ける傾向が、提供会員と利用会員の拡大を阻害する要因となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により登録時講習のオンライン開催等に取り組んでいるものの会員数を伸ばすことができない状況が続いている。</p> <p>一時預かり保育等の子育て支援サービスを補完する目的で令和3年4月より開始したベビーシッター利用支援事業(一時預かり利用支援)は、対象年齢、利用日数の拡大等により利用者数が前年度より増加した。</p>
課題	<p>ファミリー・サポート・センター事業では、提供会員の確保のため、新しく提供会員になった人に向けた講習会をオンラインでも実施するなど、参加しやすい環境づくりを進めていくとともに、提供会員と依頼会員のマッチングに力を入れ、地域の相互援助活動として、活性化を図る必要がある。</p>

## 6 委員の主な意見・評価

--

## 7 今後の方向性

--

## 2 事業の量の見込みと確保方策(19ページ)の内訳

令和4年度 実績の内訳

需要量			
一時預かり	きらら中央 (延利用人数)	一時保育	6,658
		緊急保育	108
		計	6,766
	日本橋分室 (延利用人数)	一時保育	1,398
		緊急保育	36
		計	1,434
	十思分室 (延利用人数)	一時保育	1,987
		緊急保育	13
		計	2,000
	京橋こども園 (延利用人数)	一時保育	3,015
		緊急保育	73
		計	3,088
	晴海こども園 (延利用人数)	一時保育	2,363
まなびの森保育園銀座 (延利用人数)	一時保育	76	
阪本こども園 (延利用人数)	一時保育	789	
一時預かり保育 計		16,516	
トワイライトステイ	きらら中央 (延利用人数)	幼児(2歳から未就学児)	178
		児童(小学生)	98
		計	276
	京橋こども園 (延利用人数)	幼児(2歳から未就学児)	190
トワイライトステイ 計		466	
ファミリー・ サポート・ センター	提供会員数		255
	両方会員数		109
	依頼会員数		1,740
	活動件数(就学前・就学後合算)		1,799
合計		18,781	

※十思分室は平成29年10月から実施

確保方策			
一時預かり	きらら中央	1日の定員A	20
		1日の受入可能人数(一時保育定員×1.8)+緊急保育定員B	38
		年間開設日数(概数)C	346
		年間最大受入可能延人数B×C	13,148
	日本橋分室	1日の定員A	5
		1日の受入可能人数(一時保育定員×1.8)+緊急保育定員B	11
		年間開設日数(概数)C	243
		年間最大受入可能延人数B×C	2,673
	十思分室	1日の定員A	8
		1日の受入可能人数(一時保育定員×1.8)+緊急保育定員B	15
		年間開設日数(概数)C	243
		年間最大受入可能延人数B×C	3,645
	京橋こども園	1日の定員A	15
1日の受入可能人数(一時保育定員×1.8)+緊急保育定員B		29	
年間開設日数(概数)C		364	
年間最大受入可能延人数B×C		10,556	
晴海こども園	1日の定員A	15	
	1日の受入可能人数(一時保育定員×1.8)+緊急保育定員B	27	
	年間開設日数(概数)C	293	
	年間最大受入可能延人数B×C	7,911	
阪本こども園	1日の定員A	9	
	1日の受入可能人数(一時保育定員×1.8)+緊急保育定員B	16	
	年間開設日数(概数)C	241	
	年間最大受入可能延人数B×C	3,856	
まなびの森保育園銀座	1日の定員A	10	
	1日の受入可能人数(一時保育定員×1.8)+緊急保育定員B	18	
	年間開設日数(概数)C	361	
	年間最大受入可能延人数B×C	6,498	
公私連携認定こども園等で実施する一時預かり保育(年間最大受入可能延人数)			
一時預かり保育 計		48,287	
トワイライトステイ	きらら中央	1日の定員A	20
		年間開設日数(概数)B	346
		年間最大受入可能延人数A×B	6,920
	京橋こども園	1日の定員A	10
年間開設日数(概数)B		346	
年間最大受入可能延人数A×B		3,460	
トワイライトステイ 計		10,380	
ファミリー・ サポート・ センター	提供会員数(人)A		255
	両方会員数(人)B		109
	稼働日数(人)C		1,740
	年間最大受入可能延人数(A+B)×C		633,360
	活動可能件数(R1年度実績より)		4,413
合計		63,080	

## 4 成果指標

### (1) 区民の意識

#### 重要と考える子育て支援策 一過年度比較

(%)

調査年	n	保育園・認定こども園・幼稚園 地域型保育事業所・施設整備	一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス	職業生活と家庭生活との両立の支援	放課後などにおける児童の遊びや生活の場	公園の整備など、子どもを安心して育てることが	子どもの健やかな成長のための教育環境の整備	経済的な支援	児童虐待防止対策	子育て仲間が交流し、情報交換のできる場	母親と乳幼児などの健康の確保および増進	情報の提供や相談サービス	特になし	無回答
令和4年	1,004	33.7	34.2	16.9	10.7	12.1	11.7	10.9	8.5	4.5	1.8	3.9	5.5	17.2
令和3年	1,101	36.4	35.1	16.6	12.6	15.4	9.5	11.5	8.6	4.2	1.5	4.0	4.4	14.7
令和2年	1,161	38.8	33.7	15.1	11.8	12.1	11.8	12.2	9.0	4.4	1.9	4.1	4.8	14.7
令和元年	956	42.8	37.0	16.7	11.7	10.6	9.3	7.5	11.6	4.9	1.8	3.8	4.4	17.4
平成30年	1,056	42.8	40.2	14.6	11.3	11.3	8.5	9.7	6.6	3.0	1.6	2.8	4.4	15.8

あなたがこれからの区の子育て支援で更に充実を図る必要があると考えるものを選んでください。(%)

調査年	n	保育園・認定こども園・幼稚園 地域型保育事業所・施設整備	一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス	職業生活と家庭生活との両立の支援	放課後などにおける児童の遊びや生活の場	公園の整備など、子どもを安心して育てることが	子どもの健やかな成長のための教育環境の整備	経済的な支援	児童虐待防止対策	子育て仲間が交流し、情報交換のできる場	母親と乳幼児などの健康の確保および増進	情報の提供や相談サービス	特になし	無回答
令和4年	1,004	25.5	29.5	25.9	24.1	27.8	21.7	18.8	17.8	12.0	11.7	14.0	5.4	30.6
令和3年	1,101	27.1	31.8	25.2	26.2	27.2	21.8	20.3	21.2	12.5	10.0	13.6	4.3	25.4
令和2年	1,161	29.2	33.9	27.6	28.3	28.9	23.4	20.5	21.2	10.5	11.5	12.9	5.2	23.5
令和元年	956	27.4	32.6	25.5	27.0	26.2	20.4	16.3	24.4	11.1	11.7	13.0	4.5	27.5

資料：「第52回 中央区政世論調査報告書」（令和4年）

# 令和4年度中央区子ども・子育て支援事業計画 点検・評価

## 1 事業名等

大事業	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	部課名	福祉保健部健康推進課
事業名	(7)乳児家庭全戸訪問事業(新生児等訪問指導)		
確保方策の考え方	4カ月までの乳児および母親の状況把握ができるよう、実施していきます。		

## 2 事業の量の見込みと確保方策(令和4年度)

計画		実績	
量の見込み	確保方策	需要量	確保方策
0歳児人口推計(人)		出生数(人) (計画比較)	
1,907	<b>【実施体制】</b> 1 訪問人員 40人程度(区保健師・個人契約助産師・聖路加国際病院 訪問看護ステーション) 2 実施機関 ①中央区保健所 ②日本橋保健センター ③月島保健センター 3 訪問事業以外のフォロー体制 ママとベビーのはじめて教室、乳児健診等の機会に行う。	1,940 (+33)	<b>【実施体制】</b> 1 訪問人員 40人程度(区保健師・個人契約助産師・聖路加国際病院 訪問看護ステーション) 2 実施機関 ①中央区保健所 ②日本橋保健センター ③月島保健センター 3 訪問事業以外のフォロー体制 ママとベビーのはじめて教室、乳児健診等の機会に行う。

## 3 成果 ※取組により、想定(期待)される成果を記載

育児に関する不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスに結びつけることにより、子育て家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境が確保できる。
---

## 4 成果指標

「新生児等訪問指導」の指導実施率

出生数(人)	1,940
訪問対象者数(人) A	1,706
訪問件数 B	1,694
乳児健診等による把握数 C	12
訪問率 B/A	99.3%
把握率 (B+C)/A	100.0%

訪問対象者数: 出生後、訪問の対象となる時期(3か月時点)に区民である者。転入・転出等の異動があるため、出生数とは乖離がある。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
家庭訪問の結果、把握できた要支援者の件数	140	99	140	123

要支援者: 家庭訪問時に実施したEPDS(エジンバラ産後うつ病問診票)が9点以上の件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
家庭訪問の結果、把握できた要支援者の件数/訪問件数	8.2	6.8	13.6	7.3

## 5 事業の点検・評価と課題

点検・評価	新生児訪問指導により、支援を必要とする母子を早期に把握し、子育ての不安や悩み等ニーズに適切に対応した。地区担当保健師による個別フォローに繋ぐとともに、ママとベビーのはじめて教室や、乳幼児健康相談等の母子保健事業等でモニタリングを行い、子育て期にわたるまでの切れ目ない支援体制を構築した。
課題	出産・子育て応援事業の開始等に伴い、今後、新生児訪問指導の対象者数が増加することが見込まれることから、新生児訪問指導員の拡充などについて、検討していく必要がある。また、定期的な研修等により、新生児訪問指導員としての知識や技術等スキルアップの向上を図っていく必要がある。産後は、子育てによる身体的・時間的・精神的負担が大きく、育児に関する不安や悩みを抱えやすいため、支援を必要とする母子を早期に把握し、適切な支援につなげられるよう、関係機関との情報共有や連携強化に努めていく必要がある。

## 6 委員の主な意見・評価

--

## 7 今後の方向性

--

# 令和4年度中央区子ども・子育て支援事業計画 点検・評価

## 1 事業名等

大事業	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	部課名	福祉保健部子ども家庭支援センター
事業名	(8)養育支援訪問事業および要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業		
確保方策の考え方	<p>児童虐待の予防、早期発見や子どもの適切な保護のために子ども家庭支援センター「きらら中央」や、センターを調整機関とした「要保護児童対策地域協議会」の運営を推進します。協議会は下図のような関係機関と、民生・児童委員や福祉団体などから構成され、相互に連絡を取り合い、情報の交換や支援に関する協議を行うことで、児童虐待を防止します。</p> <p>また、児童相談体制の強化のため開設した中央区と台東区と東京都での共同モデル事業(東京都児童相談所のサテライトオフィス)を活用し、児童相談所と子ども家庭支援センターの連携強化と区職員の人材育成に努めていきます。</p>		

## 2 事業の量の見込みと確保方策(令和4年度)

### <量の見込み>

養育支援が必要な家庭への個別対応、虐待防止・早期発見という事業の性質上、量の見込みは設定しません。

	計画	実績
	確保方策	
実施体制	<p>【養育支援訪問】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アセスメントシートを用いた調査および聞き取り</li> <li>2. 養育支援訪問事業検討会議(援助方針の検討) ※保健所・保健センター等との協議</li> <li>3. 支援計画書作成</li> <li>4. 養育支援の実施               <ol style="list-style-type: none"> <li>①子ども家庭支援センター相談員または保健所・保健センター保健師による訪問相談</li> <li>②ヘルパーによる育児、養育および家事援助</li> </ol> </li> </ol> <p>【要保護児童対策地域協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者会議 年1回開催</li> <li>・実務者会議 年4回開催(講演会1回含む)</li> <li>・個別ケース検討会議 随時開催</li> </ul>	<p>【養育支援訪問】</p> <p>訪問相談 31回 育児・家事支援 148回</p> <p>【要保護児童対策地域協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者会議 年1回開催</li> <li>・実務者会議 年4回開催(講演会1回含む)</li> <li>・個別ケース検討会議 53回開催</li> </ul>

## 3 成果 ※取組により、想定(期待)される成果を記載

<p>児童虐待防止の予防・早期発見や要保護児童等に対し、迅速にきめ細やかな支援を行う体制が整っている。</p>
---

## 4 成果指標

なし

## 5 事業の点検・評価と課題

点検・評価	<p>児童虐待の予防・早期発見や要保護児童等に対し、関係機関と連携してきめ細かな支援を迅速に行う体制は整っているが、新しい日常生活や新型コロナウイルス感染症の影響による家庭訪問等の困難により、支援・指導に時間を要した。また、児童虐待対応の連携強化を図るため警視庁生活安全部と協定を締結し、区内4警察署と覚書を取り交わした。</p> <p>ヤングケアラーについては、実務者会議の場で支援団体の代表者との情報交換を行うとともに、小学3年生～中学3年生に配布する「相談してね」カードにイラストを掲載するなどの啓発を行った。</p> <p>養育支援訪問事業では、特に配慮を必要とする子どもとその家族に対して家事・育児などの支援をすることができた。</p>
課題	<p>家庭をとりまく背景が多様化する中で増加する虐待相談に的確かつ迅速に対応するため、引き続き、警察・児童相談センターをはじめ関係機関との連携強化を図るとともに、ヤングケアラーについても関係機関や子どもたちへ理解を深めてもらえるような周知啓発に努める必要がある。</p> <p>養育支援訪問事業を通じて、きめ細かな支援を行うには、引き続き柔軟な対応が可能なヘルパーの確保が必要である。</p>

## 6 委員の主な意見・評価

--

## 7 今後の方向性

--

## 令和4年度中央区子ども・子育て支援事業計画 点検・評価

### 1 事業名等

大事業	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	部課名	福祉保健部子ども家庭支援センター
事業名	(9)地域子育て支援拠点事業(子育て交流サロン「あかちゃん天国」)		
確保方策の考え方	各地域に拠点を確保し、1カ所あたり30～70人程度の利用者(1日の延べ人数)を、年末年始、祝日を除く年間345日受け入れることで、各地域の量の見込みに対応します。		

### 2 事業の量の見込みと確保方策(令和4年度)

	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	需要量	確保方策
	年間利用希望延べ人数(人)	拠点数(カ所)	乳幼児利用人数(人) (計画比較)	拠点数(カ所)
京橋地域	36,297	2	築地児童館・新川児童館	
			34,734 (-1,563)	2
日本橋地域	39,526	2	堀留町児童館・浜町児童館	
			33,932 (-5,594)	2
月島地域	71,505	3	きらら中央・月島児童館・晴海児童館	
			67,145 (-4,360)	3

### 3 成果 ※取組により、想定(期待)される成果を記載

親子のふれあいと交流の場が確保され、子育てに関する悩みを気軽に相談でき、さまざまな情報提供や育児に必要な助言が行なわれ、子育てに対する不安の解消が図られている。

### 4 成果指標

なし

## 5 事業の点検・評価と課題

点検・評価	新型コロナウイルス感染拡大防止を図りつつ、利用制限を設けずに運営するとともにイベントも実施できたため、前年度に比べあかちゃん天国の利用者数が増加した。保護者同士の交流も広がり、子育て家庭の身近な居場所、相談場所としての役割を果たしている。
課題	あかちゃん天国の利用者数は今後も増加すると考えられることから、引き続き子ども家庭支援センターの専門相談員による巡回相談、栄養士による食事相談を実施するとともに、子ども子育て応援ネットワークとの連携を図りながら、来館しやすい雰囲気づくりや子育ての悩みを相談しやすい環境づくりを行う必要がある。

## 6 委員の主な意見・評価

--

## 7 今後の方向性

--

## 令和4年度中央区子ども・子育て支援事業計画 点検・評価

### 1 事業名等

大事業	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	部課名	福祉保健部子ども家庭支援センター
事業名	(10)病児保育事業(病児・病後児保育事業)		
確保方策の考え方	年間開業日数および定員数から、受入最大枠が京橋地域では1,500人日、日本橋地域では940人日、月島地域では2,820人日と設定し、対応可能な体制を確保します。		

### 2 事業の量の見込みと確保方策(令和4年度)

	計画					実績			
	量の見込み	確保方策				需要量	確保方策		
	年間利用希望延べ人数(日)	量の見込み再掲:年間利用希望延べ人数(日)	受入最大枠(人日)	1日あたりの利用延べ人数	1日あたりの定員	年間利用延べ人数(計画比較)	年間受入枠(計画比較)	1日あたりの利用延べ人数	1日あたりの定員
京橋地域	915	915	1,500	3.7	6	336 (-579)	1,422 (-78)	1.4	6
日本橋地域	474	474	940	2.0	4	51 (-423)	944 (+4)	0.2	4
月島地域	1,143	1,143	2,820	4.9	12	806 (-337)	2,880 (+60)	1.7	12

### 3 成果 ※取組により、想定(期待)される成果を記載

子どもが体調不良の場合でも、保護者が安心して働ける環境が確保されている。
--------------------------------------

### 4 成果指標

31ページ参照

## 5 事業の点検・評価と課題

点検・評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による利用制限や保護者の利用控えから、計画と比較し需要量は下回った。各保育室の環境や患児の状況等が異なることから、受け入れ対応に差が生じているが、事業を休止することなく実施しており、保護者が安心して働ける環境を確保するためのセーフティネットとして、その役割を果たしている。
課題	子どもが体調不良の場合でも保護者が安心して働ける環境を確保するためのセーフティネットとして機能するよう、各保育室と連携を図りながら、保護者が利用しやすい体制を整える必要がある。

## 6 委員の主な意見・評価

--

## 7 今後の方向性

--

## 4 成果指標

### (1) 年度別病児・病後児保育稼働率

年度別病児・病後児保育稼働率

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
聖路加ナーサリー	開業日数(日)	244	240	243	242	237
	利用人数(人)	778	770	187	326	336
	稼働率	53.1%	53.5%	12.8%	22.5%	23.6%
ニチキッズさわやか日本橋浜町保育園※1	開業日数(日)	238	235	232	235	236
	利用人数(人)	453	301	50	89	51
	稼働率	47.6%	32.0%	5.4%	9.5%	5.4%
勝どき小児クリニック※2	開業日数(日)	239	235	238	236	238
	利用人数(人)	426	452	129	326	347
	稼働率	29.7%	32.1%	9.0%	23.0%	24.3%
ゆめみらい※3	開業日数(日)	201	240	242	241	242
	利用人数(人)	714	650	142	318	459
	稼働率	59.2%	45.1%	9.8%	22.0%	31.6%

※1 ニチキッズさわやか日本橋浜町保育園は、平成31年4月1日よりさわやか保育園・日本橋浜町から名称変更

※2 平成29年度の実績は、勝どき小児クリニック病後児保育室の実績(平成29年6月7日契約開始)

※3 ゆめみらいは、平成30年6月1日開設

### (2) 区民の意識

重要と考える子育て支援策 一過年度比較

(%)

調査年	n	保育園・認定こども園・幼稚園などの施設整備	一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの支援サービス	職業生活と家庭生活との両立の支援	放課後などにおける児童の遊びや生活の場	公園の整備など、子どもを安心して育てることが	子どもの健全な成長のための教育環境の整備	経済的な支援	児童虐待防止対策	子育て仲間が交流し、情報交換のできる場	母親と乳幼児などの健康の確保および増進	情報の提供や相談サービス	特にな	無回答
令和4年	1,004	33.7	34.2	16.9	10.7	12.1	11.7	10.9	8.5	4.5	1.8	3.9	5.5	17.2
令和3年	1,101	36.4	35.1	16.6	12.6	15.4	9.5	11.5	8.6	4.2	1.5	4.0	4.4	14.7
令和2年	1,161	38.8	33.7	15.1	11.8	12.1	11.8	12.2	9.0	4.4	1.9	4.1	4.8	14.7
令和元年	956	42.8	37.0	16.7	11.7	10.6	9.3	7.5	11.6	4.9	1.8	3.8	4.4	17.4
平成30年	1,056	42.8	40.2	14.6	11.3	11.3	8.5	9.7	6.6	3.0	1.6	2.8	4.4	15.8

あなたがこれからの区の子育て支援で更に充実を図る必要があると考えるものを選んでください。(%)

調査年	n	保育園・認定こども園・幼稚園などの施設整備	一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの支援サービス	職業生活と家庭生活との両立の支援	放課後などにおける児童の遊びや生活の場	公園の整備など、子どもを安心して育てることが	子どもの健全な成長のための教育環境の整備	経済的な支援	児童虐待防止対策	子育て仲間が交流し、情報交換のできる場	母親と乳幼児などの健康の確保および増進	情報の提供や相談サービス	特にな	無回答
令和4年	1,004	25.5	29.5	25.9	24.1	27.8	21.7	18.8	17.8	12.0	11.7	14.0	5.4	30.6
令和3年	1,101	27.1	31.8	25.2	26.2	27.2	21.8	20.3	21.2	12.5	10.0	13.6	4.3	25.4
令和2年	1,161	29.2	33.9	27.6	28.3	28.9	23.4	20.5	21.2	10.5	11.5	12.9	5.2	23.5
令和元年	956	27.4	32.6	25.5	27.0	26.2	20.4	16.3	24.4	11.1	11.7	13.0	4.5	27.5



# 令和4年度中央区子ども・子育て支援事業計画 点検・評価

## 1 事業名等

大事業	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	部課名	福祉保健部健康推進課
事業名	(11)妊婦健康診査		
確保方策の考え方	聖路加国際病院ほか妊婦健康診査実施医療機関に委託して、必要な妊婦健康診査を実施します。		

## 2 事業の量の見込みと確保方策(令和4年度)

	計画		実績	
	量の見込み	確保方策	需要量	確保方策
	妊婦健康診査受診件数(件)		妊婦健康診査受診件数(件) (計画比較)	
1回目	2,020	<b>実施体制</b> 1 実施場所 ①都内妊婦健康診査委託医療機関(区内委託医療機関は聖路加国際病院ほか15医療機関) ②その他医療機関(妊婦健康診査受診票が利用できない妊婦健康診査実施医療機関での受診については、後日償還払いで対応) 2 検査項目 ①1回目 問診、体重測定、血圧測定、尿検査(糖、蛋白定性)、血液型(ABO、Rh)、貧血、血糖、不規則抗体、HIV抗体、梅毒血清反応検査、HBs抗原検査、風疹抗体価検査、C型肺炎検査 ②2回目から14回目 【毎回】 問診、体重測定、血圧測定、尿検査(糖、蛋白定性)、保健指導 【週数等に応じ、各回1項目】 クラミジア抗原検査、経膈超音波検査、HTLV-1抗体、貧血、血糖、B群溶連菌、NST(ノン・ストレス・テスト) ③妊娠期間中に1回 妊婦超音波検査、妊娠子宮頸がん検査	1,953 (-67)	<b>実施体制</b> 1 実施場所 ①都内妊婦健康診査委託医療機関(区内委託医療機関は聖路加国際病院ほか15医療機関) ②その他医療機関(妊婦健康診査受診票が利用できない妊婦健康診査実施医療機関での受診については、後日償還払いで対応) 2 検査項目 ①1回目 問診、体重測定、血圧測定、尿検査(糖、蛋白定性)、血液型(ABO、Rh)、貧血、血糖、不規則抗体、HIV抗体、梅毒血清反応検査、HBs抗原検査、風疹抗体価検査、C型肺炎検査 ②2回目から14回目 【毎回】 問診、体重測定、血圧測定、尿検査(糖、蛋白定性)、保健指導 【週数等に応じ、各回1項目】 クラミジア抗原検査、経膈超音波検査、HTLV-1抗体、貧血、血糖、B群溶連菌、NST(ノン・ストレス・テスト) ③妊娠期間中に1回 妊婦超音波検査、妊娠子宮頸がん検査
2～14回目 (延べ件数)	19,945		19,439 (-506)	

## 3 成果 ※取組により、想定(期待)される成果を記載

治療等が必要な妊婦をより確実に医療へつなぎ、妊産婦及び乳児の死亡率の低下を図ることができる。また、流産、早産、妊娠高血圧症候群、子宮内胎児発育遅延の防止等により妊産婦及び乳児の障害予防を図ることができる。

## 4 成果指標

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受診率(受診券使用件数(1回目)／受診券交付枚数)×100	91.7%	94.9%	92.9%	93.1%	92.6%

## 5 事業の点検・評価と課題

点検・評価	受診件数は当初の見込みを下回ったが、成果指標の「受診率(受診券使用件数(1回目)／受診券交付枚数)×100」については、令和4年度の受診率が92.6%とこれまでと同様の高い水準を維持することができた。
課題	受診件数は当初の見込みを下回ってはいるが、受診率は依然として高い水準にあるため、東京都や医師会などをはじめとする関係団体と連携し、適切な確保方策について、引き続き検討を行っていく必要がある。

## 6 委員の主な意見・評価

--

## 7 今後の方向性

--